

<学校教育について>

- ・読書量が増えて何が身に付いたかを明らかにしたい。
- ・古い本は子どもが興味をしめさない。蔵書の入替をこまめにする。
- ・掃除は、心の鏡を磨くことが目的。精神面までの高まりの指導をしたい。
- ・地域教材を使って指導することはよい。社会の授業での米作りを食育にまで関連させて指導するとよい。
- ・子ども達が行きたくなる魅力ある学校にしてほしい。
- ・絵や写真だけでなく、触れる体験ができる教具などの工夫があるとよい。
- ・わかっているも手が挙げられない子もいる。積極的に手が挙がる学級の雰囲気作りをして堂々と話せるよう指導して欲しい。
- ・夏休みの作品の結果が公表されていた。宮地小学校の子の名前もあり、よかった。
- ・宮地という環境のよさを生かしたい。
- ・学校の歴史や先人の知恵を子ども達に伝えて欲しい。
- ・2クラス以上あると互いに競い合う。子どもが食いつく授業を工夫して欲しい。
- ・「自分のよさを表現する子」とは、行動にうつす子である。
- ・感動・感謝・志を大切にすることを育てたい。

<地域や家庭との連携について>

- ・ぽかぽか言葉に学校で取り組まれているが、地域での挨拶ができない。こちらが挨拶をしても嫌々する子や笑顔がない子がいる。
- ・地域で子ども達に挨拶をしても応えてくれる子が少なかった。最近はややよくなった。笑顔が欲しい。
- ・靴の整頓は集会場などでもできていない。
- ・家庭の過ごし方について、学校からノー・テレビデー等を打ち上げてはどうか。
- ・夏休みのラジオ体操に全地区をまわったがよくない。小学生を指導する立場である中学生もよい姿を見せて欲しい。体力づくりは、真剣に取り組むことやメリハリをもってすることが大切。
- ・ぽかぽか挨拶は、まだまだである。家庭でも指導したい。
- ・家庭では遅くまでドラマを見ている。それを見ないと学校で仲間の会話に入れないと子どもが言う。一つの家庭だけでは制限はできない。学校と家庭が一緒になって進めていく必要がある。
- ・家庭での役割が少ない。自分に何ができるかを考え、主体的に取り組むようにさせたい。
- ・運動会のゴールに並んでビデオ撮影する保護者の姿はどうか？子どものゴールの瞬間の喜びの顔を見て感動を分かち合うことの方が大切である。